

地域で探そう、育てよう！



「水土里のたから」

—農地・水・環境保全向上対策—

活動取組事例集



平成20年 3月
新潟県 農地部

— 目 次 —

～水田の貯留機能増進～

- ・川通北地区保全会 25
～安らぎの環境づくり川通北地区～
(新潟県三条市「川通北地区」)
- ・川浦環境保全会 27
～みんなの川浦、里山主義で生き生きと～
(新潟県上越市「川浦地区」)

～世代間交流「絆づくり」～

- ・上関資源保全会 29
～地域に生きる絆づくり～
(新潟県岩船郡関川村「上関地区」)
- ・上土沢資源保全会 31
～地域の絆は、知恵と工夫で花づくり・人づくりから～
(新潟県岩船郡関川村「上土沢地区」)
- ・川上農地保全組合 33
～高田平野を潤す豊かな水乃里「川上」～
(新潟県妙高市「川上地区」)

～広報活動～

- ・向中条資源保全会 35
～全国をつなぎ地域を結ぶ組織のホームページ！～
(新潟県新発田市「向中条地区」)
- ・コスマイルたかき 37
～環境を思いやり心いやされる地域のづくり～
(新潟県燕市「高木地区」)

～学校教育との連携～

- ・米倉地区環境保全活動組織 39
～豊かな歴史資源と自然環境を次の世代へ～
(新潟県新発田市「米倉地区」)
- ・農地・水・環 根知なから隊 41
～歴史と伝統と自然の宝庫 水いずる山里根知～
(新潟県糸魚川市「根知地区」)

～環境保全型農業～

- ・大戸地域環境協議会 43
～明るく心やすらむ郷 おおど～
(新潟県弥彦村「大戸地区」)
- ・小泊地域資源保全会 45
～基盤整備と協業化を促進し集落の農地を守る～
(新潟県佐渡市「小泊地区」)

全国をつなぎ地域を結ぶ組織のホームページ！

向中条資源保全会

HP URL http://www.geocities.jp/nouchi_mizu

地区のようす

にいがたけんしばたしむかいなかじょうちく
(新潟県新発田市向中条地区)

【協定対象面積】 113.6ha (田:112.9ha 畑:0.7ha)

【農業用施設】 開水路35.4km 農道9.2km

【農家戸数】 30戸

新潟県の北部に位置し、昭和41年、42年の連続羽越豪雨災害の復旧・復興事業により整備された平坦な水田主体の農業地帯である。地区内の農業用排水路の泥上げ、藻刈り等は地域住民が全員参加で取り組んでおり、自治会主催のクリーン作戦(空き缶・ゴミ拾い)では子供会も参加している。今後も施設の維持管理はもとより、初期補修を行い施設の長寿命化を図るために取り組んでいく。また地域ぐるみでの清掃活動や農村景観形成活動などを継続して行い、農村生活環境整備に努める。

『活動組織』～地域のみんで取り組もう！多様な主体が参加した共同活動組織～

【組織のしくみ】

構成団体	方針決定	立案実践	役割分担(全て他の構成員と連携して行う)
自治会			連絡調整、宅地周辺水路泥上、景観形成・生活環境保全活動等
土木委員会			施設点検・機能診断、維持管理、初期補修や改修等
農家組合			地先施設の草刈り、水路泥上げなどを個々農業者を指導等
子供会	総会	役員会	施設の定期清掃、生態系保全における生き物調査等
消防団			地域用水の利用管理等
JA婦人部			景観形成・生活環境保全等
スポーツクラブ			景観形成、生態系保全活動等
土地改良区			活動における指導、助言、資材の貸与などの支援
農業協同組合			活動における指導、助言、資材の貸与などの支援

～苦労・工夫したところ～

新しい制度であったことから、活動の目的や活動内容などが理解されず、一度は農家組合の集まりで否決されたが、粘り強く説得を続け組織化することができた。その後集落内に目的や活動内容を浸透するため「あなたの周辺で困っていること」を切り口としたワークショップを開催し、意見を吸い上げ活動計画に生かすようにした。また、活動が役員中心となることが考えられたことから、月1回程度の広報紙「資源保全会だより」の発行や活動組織のホームページを開設し構成員と役員の風通しを良くすることに努めている。

『活動計画』～活動組織が策定する夢のある共同活動計画～

1. 共同活動により目指す地域振興の方向や目標

施設の維持管理活動及び施設の初期補修などの質的向上活動で施設の長寿命化を図り、併せて地域ぐるみでの景観形成活動などに取り組み、担い手の育成などの農業生産基盤の確立を目指す。

2. 活動の概要

活動の区分	活動の概要
基礎部分	農地、農業用水等の資源を保全する活動として、点検活動、共同活動計画の策定を行い、施設周辺の草刈、泥上げ等を行う。
農地・水向上活動	農地、農業用水等の資源の質的向上、長寿命化を図る活動として、機能診断、年度活動計画の策定を行い、施設の初期補修、ゲート類の保守管理、異常気象後の見回り等を行う。
農村環境向上活動	農村環境の保全及び質的向上を図る活動として景観形成・生活環境及び生態系保全をテーマとする計画策定、啓発普及を行い、施設や農用地を利用した景観植物の植栽などを行う。

～苦勞・工夫したところ～

構成員にとって営農活動や生活行動パターンを、文字に表す作業(活動計画作成など)に苦勞したものの、活動を実践する中で理解が進んだ。
文字や図表も大切であるが、もっと大切なのは実践とその後のフォローである。

取り組み状況 ～特徴的な取り組みを紹介します～

農地・水向上活動(水路の藻等の除去)



農村環境向上活動(生態系保全・生き物調査) この写真は、19.11.21付の新聞に掲載されました



月1回程度発行されるA4版両面広報誌で、自治会の協力を得て集落内全戸に配布されます。

向中条資源保全会だより

～農地・水・環境保全向上対策広報紙～

平成19年11月25日発行 第6号 発行責任者：資源保全会代表

白鳥が飛来する季節を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、向中条資源保全会の活動も8ヶ月が過ぎようとしており、概ね順調に進んでいます。天候を見ながらもう少し農業施設の修繕などを進めます。11月21日付の新潟日報6面を見ましたでしょうか。向中条資源保全会の活動している写真が掲載されていますので、まだ見てない方見てくださいね！



ご存知の方も多いと思いますが、10月6日に集落の上、下に1基ずつ広報看板を設置しました。
縦0.9m、横1.8m、高さ3mの両面看板です。もう少し大きくても良かったのかなと思いつつ、完成しました。看板に偽りの無い活動を行なったものです。土地を貸して下さった方々に心から感謝申し上げます。



幹線用水路の不同床下対策として、築上げを行ないました。この写真のコンクリート打設までの形持込みが、とても大変で時間もかかりました。今年度分56mを10月中旬に終わることができました。作業に協力して下さった方々、本当にありがとうございます。(10月16日撮影)



10月21日(日)天候の悪い中で、3.8kmの葉の花ロードを目指して葉の花の播種を行いました。40人も参加していただき、ありがとうございました。写真は、播種した法面に川砂を覆土しているところです。



葉の花の芽が出るのか、とても心配でしたが、ご覧のとおりです。確かに葉の花の芽です。元気に育ってくれると良いですね！肥料は必要?? (11月17日撮影)

活動組織からの声

- 各種の活動を通して世代間の交流が進み、地域コミュニティーの醸成が図られつつある。
- 農地・水、とりわけ水の大切さを理解できるようになった。施設を含めた農村環境は国民の宝である。
- 活動1年目であることから、この活動が担い手の育成になるのかは不明である。
- 活動が終る5年後を考える必要がある。それまでに「自分の地域はみんなで守ろう」を浸透させたい。
- 景観形成など、次の活動を楽しみにしている住民も多い。

豊かな歴史資源と自然環境を次の世代へ

米倉地区環境保全活動組織

にいがたけん しばたし よねくらちく

(新潟県新発田市米倉地区)

地区のようす

【協定対象面積】 168.4ha (田:168.4ha)

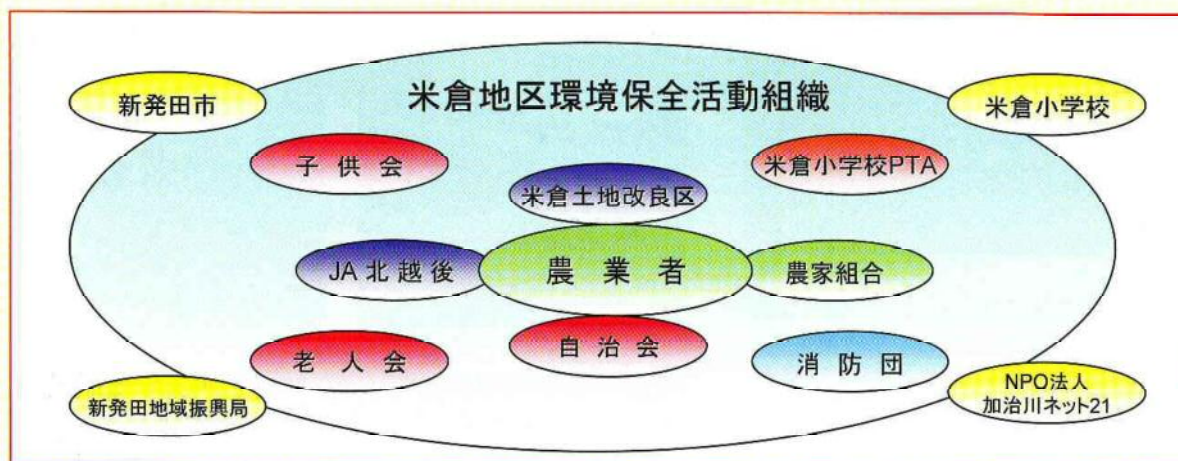
【農業用施設】 開水路52.8km パイプライン5.1km 農道25.1km

【農家戸数】 78戸

本地区は新潟県の北部に位置している、米を中心とした農業地帯です。現在農業用水等は大半が土水路で保全管理で江ざらいを行っています。農業就労者が高齢化が進んでいて重労働となっています。今後は人材確保のための新たな農業経営者の発掘・育成が課題となっています。また地域振興では農村集落毎のまとまりがあり住民活動も活発なため、農村コミュニティを基盤に市街地と山間部をつなぐ広域交流拠点として、自然資源、歴史資源を活かした農村づくりを実施して行きます。

『活動組織』～地域のみんなで取り組もう！多様な主体が参加した共同活動組織～

【組織のしくみ】



～苦労・工夫したところ～

- ・地域の多種多様な組織の構成団体への参画。
- ・学校教育との連携がスムーズに行える組織づくり。
- ・専門家集団との連携を行い質の高い活動を実践。
- ・必要に応じて行政機関との連携が行えるような情報提供。
- ・各構成団体が特色を活かせる組織づくり。

『活動計画』～活動組織が策定する夢のある共同活動計画～

1. 共同活動により目指す地域振興の方向や目標

当地区では「米倉有機の里構想」を掲げ、米倉地区有機資源センターの堆肥を使用した土づくりからの安心安全な農産物の生産、有機の里交流センターとねむの木広場（農産物直売所）等を活用とした様々なイベントによる地域活性化を図っています。

上記を踏まえ、当組織は保全活動を通じて農業者の維持管理の軽減、自然環境・歴史資源の伝承、生活環境の保全等を行い、その活動自体が地域活性化の一助となるよう努めて行きます。

2. 活動の概要

活動の区分	活動の概要
基礎部分	農地、開水路・パイプライン・農道の資源保全の活動として、遊休農地等の発生状況の把握、施設の点検、共同活動計画の策定、施設周辺の草刈、水路の泥上げ、土砂の適正管理、農道の砂利補充等を行う。
農地・水向上活動	毎年の活動は施設の機能診断を行い、共同活動計画を策定し、農地・開水路・パイプライン・農道の資源の向上(長寿命化)を図る活動を行う。また、活動組織の構成員が施設の補修等に取り組めるよう、技術向上対策等を実施する。
農村環境向上活動	水路等に生息する生き物の生態系保全の活動を図るため、生態系保全等をテーマとする計画の策定を行い、学校教育と連携を行いながら、子供会等を対象として生物の生息状況の把握の活動を行う。また景観保全・生活環境保全の活動では、老人会を中心として伝統的農法の実施活動を行う。

～苦労・工夫したところ～

- ・圃場整備済みエリアと未整備エリアでの保全方法に変化を持たせた。
- ・学校教育との連携を重点的にを行い、必要に応じて行政機関との連携を行った。
- ・学校教育との連携は授業カリキュラムとの調整を図りながら、生徒が混乱しないよう先生方と随時調整を行いながら行った。
- ・補修等の優先順位について、関係者の合意形成を慎重に行った。

取り組み状況 ～特徴的な取り組みを紹介します～

農村環境向上活動（生態系保全「ビोटープ作り」）

米倉小学校4年生とNPOと共に



当地区では、農村環境向上活動として2つのテーマ(生態系保全・伝統的な農法の保全)を学校教育と連携して行っています。年度末には先生方も含め、米倉小学校と活動組織、行政の方々も参加し活動発表会を行いました。

農村環境向上活動（伝統的な農法の保全「はさ掛け」）

米倉小学校5年生と共に(新聞記者も駆けつけました)



活動組織からの声

- ・地区内の現状を把握する良い機会となった。
- ・地域において、次世代へ残さなければならない自然資源、歴史資源を改めて認識できた。
- ・効率的、効果的な維持管理方法を検討する契機となった。
- ・地域が一つとなって施設を保全していく必要性が理解できた。